

農業の新しい技術

No. 644 (平成 23 年 5 月)
分類コード 01-14
熊本県農林水産部

褐毛和種種雄牛「^{みつはるしげ}光晴重」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：地内 正嗣

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その肥育及び枝肉成績により優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. 肉質および枝肉重量、ロース芯面積が優れた褐毛和種種雄牛「光晴重」を選抜した。

○血統

父 第十六光重(育高 2)

祖父 光重E T (育高 1)

第二光丸 (特級 22)

祖母 第七さつき(産肉 146)

第十重川 (高 65)

母 第三さかえ(繁殖 16894)

祖父 第三光重(繁殖 29)

光重E T (育高 1)

祖母 さかえ☆☆(育高 537)

波丸 (高 74)

○登録番号：繁殖 1 5 2

○生年月日：平成 1 8 年 7 月 3 日

○生産地：阿蘇郡南阿蘇村

2. 現場後代検定成績および育種価

○脂肪交雑(BMS.No)は去勢 4.00 で、一般肥育の去勢 3.19 より優れ、育種価(以下、BVとする)でも+2.95(評価種雄牛 472 頭中 1 位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○枝肉重量は、去勢 491.9kg、雌 420.8kg で一般肥育の去勢 463.9kg、雌 415.2kg よりも優れ、BVでも+28.19kg(評価種雄牛 472 頭中 28 位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

○ロース芯面積は、去勢 55.6cm²、雌 49.2cm² で一般肥育の去勢 50.4 cm²、雌 47.9 cm² よりも優れ、BVでも+8.98cm²(評価種雄牛 472 頭中 5 位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

* 育種価(BV)は、産子の肥育成績や血統情報等を用いて、後代牛が父牛の遺伝的影響でどれだけ改良されるかを予測した数値。

